



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel(186-)0595-53-1077



[2020. 12. 20 発行 編集担当: 森田 佳子]

今年も残りわずかとなりました。新型コロナウイルス禍の影響で、様々な活動が予定通りにはいきませんでした。その時々にはできることに取り組んでいます。先行きは不透明ですが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀 2020 開催報告

今年は、新型コロナウイルス感染症禍の中、開催が危ぶまれた「風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀 2020」でしたが、多くの作家・出展者の方からの出品・参加やご協賛頂いた団体や個人の方々、そして手弁当で運営に協力頂いたスタッフの皆様方のご協力のお蔭で、無事閉幕を迎えることができました。分散搬入・搬出やパーティ&交流会の不開催など、あらゆる場面で「3密」を避け、感染防止には万全の配慮と警戒を払いながらの芸術祭の開催でしたが、日々、不安と注意を払いながら過ごしました。かたち展は一般部門52名、78点、ジュニア部門4名、4点、合計56人、82点の作品が出品されました。旧小学校の校舎などを会場に、多種多様な作品が所狭しに展示されました。今年は初めて、短編映画での出品もありました。出品者は、「土」に当たる地元の伊賀市、名張市から22人、「風」に当たる地域外からは30人でした。遠くは愛知県安城市、和歌山県日高川町、滋賀県東近江市、京都市、大阪市などからも出品して頂きました。ジュニア部門は、風、0人、土、4人です。かたち展に先立ち8月15日(土)から地元地域に滞在して公開制作された「アーティスト インレジデンス」参加作家のノブコ・ウエダさんの作品も含まれています。

また、18日(日)には、アートフェアを開催しました。風は、大阪市、八尾市などから4人・団体が、土は、地元、伊賀市、名張市を中心に11人・団体が参加されました。木工芸・手作り品などの作品や焼き菓子・農産加工品などのフリーマーケット、キッチンカー、造形ワークショップ、パフォーマンスなどもあり、午後早々には売切れ続出となるほど盛況でした。

結果としては、かたち展の8日(実質7日間)の会期中、約500人の方々にご来場頂きました。例年を上回る方々にお越し頂いたように思います。FM三重、朝日新聞、読売新聞、中日新聞、伊賀上野ケーブルテレビ、アドバンスコープケーブルテレビなど始め、多数の報道機関でも、ご紹介頂きました。作品も、元小学校という会場を活かし工夫された展示・表現が増えてきているようです。例年、恒例のギャラリートークは、「密」を回避する観点からWebギャラリーとして、YouTubeチャンネルで配信しています。出品者説明会、会場周辺風景、作品紹介(ショートバージョン及びロングバージョン1.2)、アーティスト・イン・レジデンス作家紹介をアップしています。ご覧頂けたら幸いです。また、毎年好評を頂いていた「折り紙カフェ」(喫茶・軽食コーナー)は、メナード青山リゾートのパン工房さんのご協力のもと、セルフカフェとして開設し、人的接触を避けました。会場当番や来場者の方への軽食や喫茶の利便性の担保は果たせたように思います。

残念ながら、毎年好評を頂いており開催趣旨の大きな柱の一つである「ふれあい」(交流)の機会であったパーティ&交流会、ギャラリートークは開催できませんでしたが、できる範囲のことに傾注し工夫を凝らしながらの開催でした。未知の新型コロナウイルス感染症禍の中での開催可否の判断ではありましたが、何時でも中止する覚悟と勇気を持ちながら準備だけは粛々淡々と進めていました。中止は「簡単」で、ある意味「楽」ですが、試行錯誤するのにもまた、意味や意義のあることかなとは感じました。これも、一応、無事閉幕できた今だからこそ言えるのかも知れませんが、ご報告とお礼まで。

(風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀 実行委員会: 森田 耕太郎)



今後の予定 年間計画の一部変更(中止・追加)

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、活動の予定が一部変更になっています。ご確認よろしくお願いいたします。

第3回 実技講習会「和綴じ本づくり」 1月24日(日) 京都 ★ 詳細裏面

第4回 実技講習会「上高尾炭づくり見学」 2月21日(日) ⇒ 中止

粘土カフェ「穴窯焼成」 1月3日(日) ~ 7日(木) ※ 前後に窯づめ、窯出しあり

造形ワークショップ「ワラ細工 みご箒(箒)・釜敷き」 2月21日(日) アトリエ ★ 詳細裏面

今回、「和綴じ本づくり」は、京都の鈴木松風堂さんでミニ体験をします。

*日時：2021年1月24日(日) ①13:00～(約1時間)
②14:30～(約1時間)

*会場：鈴木松風堂
京都市中京区柳馬場通六角下ル井筒町409
<http://www.shofudo-shop.jp>

*定員：8名(各回4名 ①より順次受付します)
*参加費：1,100円(和綴じ本 出来上がりサイズ 12.5 × 17.5 cm)

【参加申し込み・問い合わせ】

参加ご希望の方は、Eメール(contact@appfi.org)をご利用の上、お名前、連絡先(電話番号・メールアドレス)をご記入の上、1月15日(金)までにお申し込みください。担当者への電話でも可能です。

(実技講習会担当：森田 佳子 090-9094-8594)



造形ワークショップのご案内です。

第4回実技講習会に予定していましたが「炭焼き見学」は、コロナ禍と先方のご都合により、実施が困難になりました。代わって、「つくって楽しむわら工芸」のテキストを使って、参加者が自ら素材を準備し、制作方法を調べながら自主的に制作をするワークショップを開催します。

「みご箒」や「釜敷き」を制作予定です。興味をお持ちになられた方は、お問い合わせください。

開催日時は2月21日(日)10:00～17:00(アトリエ)です。

(造形ワークショップ担当：森田 耕太郎)



第2回実技講習会「紙漉き&工房見学」と研修旅行の報告

今年度第2回実技講習会「紙漉き体験」は、研修旅行の1日目12月5日(土)午前中に実施しました。訪れた所は奈良県吉野町「国栖(くにす)の里」にある「植和紙工房」です。庭には和紙の原料となる「楮(こうぞ)」の樹皮が干してありました。「宇陀紙」と呼ばれる表装用の和紙を中心に製造されているそうです。楮や、糊に使われている「ノリウツギ」という木なども見せていただき、和紙作りの工程の説明の後、紙漉きをしました。モミジなどの葉を漉き込んだり、染料で色付けされたもので模様を付けたりして楽しみ、思い思いの作品ができました。参加者は6名でした。

(実技講習会担当：田上 早百合)



今年の研修旅行は、奈良県の吉野を訪れました。初日は参加者6名。まずは「植和紙工房」にて紙漉き体験、午後吉野杉の突板でイス等の制作をされている木工房「studio-jig」の見学。最後の「匠の聚」では、こちらに入居されている小川ころさんに案内していただき、敷地内の工房・ギャラリー、穴窯等を見学しました。

2日目は参加者4名。木工房「アップルジャック」にて、木工旋盤を体験。各自、お猪口を制作しました。ランチのあとは吉野山に登り、各々興味のあるところを散策しました。

(研修旅行担当：森田 佳子)

事務局からのお願い

◎ 本法人は皆様方からご納入了いただきました会費で運営されております。常々、ご協力ありがとうございます。
未納の方は、早めの納入にご協力をお願いいたします。**2020年度より大人5口以上(学生3口以上)が原則となっております。**
[郵便局] ゆうちょ口座：00890-1-106346 NPO アーツ プラネット プラン フローム イガ
[他行～] ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 ○八九店(ゼロハチキュウ店)
当座 0106346 アーツプラネットプランフロームイガ

(会計：芝田 真美)